

地域と若者をつなぐ

Switch  
認定NPO法人

# みやぎ若者応援 プラットフォーム事業

## 活動レポート

編集・発行

認定 NPO 法人 Switch

〒980-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 1-6-3 東口鳳月ビル 602

発行年月日 2023年2月

Supported by



READYFOR

READYFORの基金事業のサポートを  
受けて活動しています



2021年度休眠預金を活用した新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業  
「長期化する若者の『コロナ失職』包括支援」

Switch  
認定NPO法人

## 01 はじめに P. 2

## 02 取り組みの概要 P. 3, 4

## 03 コンポーネント ① e スポーツ P. 5, 6

## 04 コンポーネント ② 「まなぶ」 P. 7, 8

## 05 コンポーネント ③ 「うごく」

農村編 P. 9, 10

企業編 P. 11, 12

## 06 みやぎ若者応援サーバー

構築から運用まで P. 13-16

チューター養成・参加者の声 P. 17, 18

オンラインからリアルへ P. 19, 20

## 07 法人紹介 P. 21, 22

contents

# 01 はじめに

新型コロナウイルスの影響は、サービス業や販売を中心とする地域の様々な産業に影響を与え、そこで働く若者たちは、特に大きな影響を受けてきました。収入の減少のみならず、4割の若者が「格差」が広がったと感じ、2割の若者が「働く意欲」が低下したと答えるなど、様々なリスク要因にさらされる若者像が浮かび上がってきました。

「みやぎ若者応援プラットフォーム事業」ではオンラインゲームやSNSを活用した若者の居場所の創出から、支援への繋がりやすさと地域の支える力の拡大を促す「つながる」取り組みを進めるとともに、働くスキル向上や、負荷の高い社会の中で生き抜くための「まなぶ」コンテンツを提供してきました。そして農村という非日常体験ができる場所や、企業内での実習という場で「うごく」ことで、実社会での活躍を目指す事業としてスタートしました。10か月の事業期間の中で、様々な成果や課題が見えましたが、どれもこれからの若者支援の取り組みのヒントになるものだと考えています。

この冊子を、これからの若者支援に取り組む皆様に手に取っていただき、新しい仕組みづくりのきっかけとしていただければ幸いです。

2023年2月

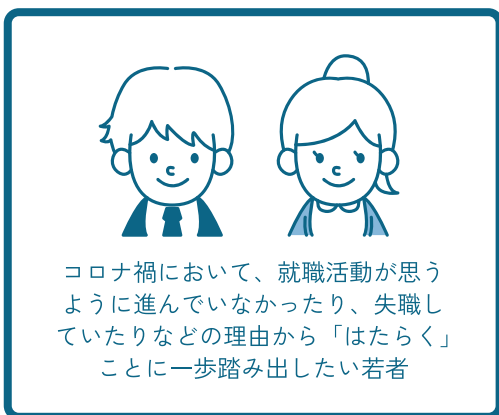
認定NPO法人 Switch



contents

## 02

## 取り組みの概要



# Switch

認定NPO法人

「みやぎ若者応援プラットフォーム事業」は、「つながる」「まなぶ」「うごく」の3つの事業を柱に、若者たちのさまざまなステージに対応できる仕組みを構築しました。

地域の中で声を上げにくい若者との接点を作ることから始まり、その若者たちが必要な力を獲得する場の創出、そして社会で実践を積む場など、段階的に地域社会に羽ばたくことが出来る事業をイメージしました。

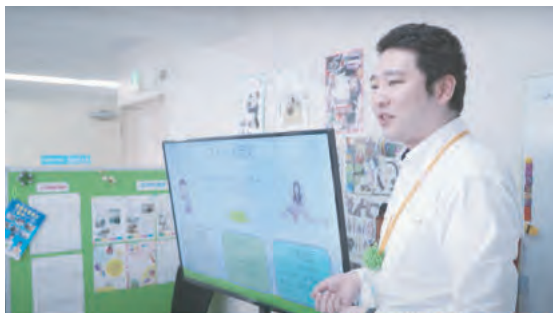
## コンポーネント1 「つながる」



今回の事業では支援につながる多様な接点を作ることにチャレンジしました。

- ・電話：電話により支援につながる
- ・メール：メールでの相談への接続
- ・対面：対面の面談での支援との接点
- ・アウトリーチ：自宅などに訪問しての面談
- ・オンライン：SNS やオンラインゲームを活用しての支援との接点の創出

## コンポーネント2 「まなぶ」



「まなぶ」では、以下のような様々なスキルを身につける機会の提供にも取り組み、地域や社会の中で、若者たちが活躍できる力をつけることに取り組みました。

- ・セルフケア講座
- ・コミュニケーション講座
- ・就活講座
- ・ITスキルアップ講座
- ・学び直し講座

## コンポーネント3 「うごく」



「うごく」では、若者たちが非日常的な場に身を置くことで、視野を広げ、新しい方向性を模索できるよう「集合型研修（農村留学）」を実施。多様な価値観に触れるとともに、地域で若者の実習に前向きな企業を開拓し、体験実習を実施するとともに、若者へのメッセージを映像化し、地域の若者と企業との接点を創出しました。

## 中長期展望



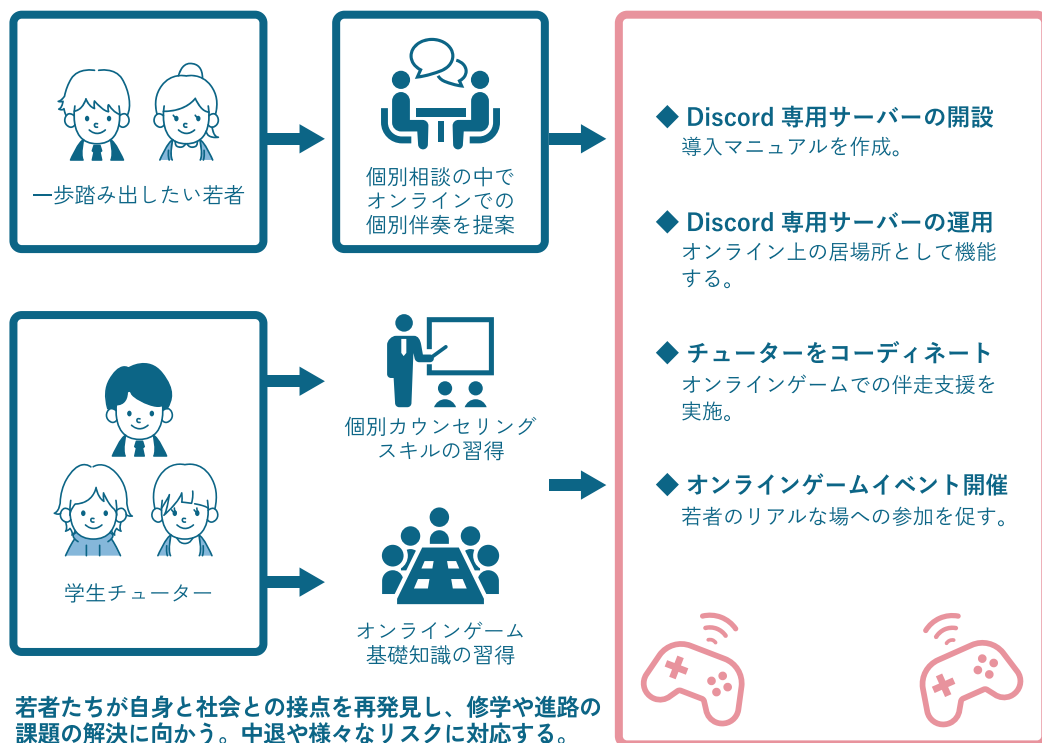
中長期的には、若者が必要なサポートに容易につながる事が出来るとともに、自分に必要なスキルや経験を積み、自信をもって次のステップに一歩を踏み出すことが出来ることを目指しています。

また、地域企業と若者との接点を作り、地域と若者がともに支えあう地域社会の実現を目指しています。

contents

## 03

## コンポーネント① 「つながる」



## オンライン上での若者との接点づくり

今回の事業では、オンラインゲームやeスポーツを活用することで、通所や電話での支援につながりにくい若者と、オンライン上での接点を作ることに取り組みました。

対象者を15歳から39歳の「コロナ禍で所属を失い、オンライン上に居場所を見出す若者」としたうえで、東北地方中心に大学生に呼びかけ、若者とオンラインで向き合う有償ボランティアとして位置づけました。



並行して大学とのネットワークの中で、若者の伴走に興味のある大学生との接点を作ったうえで、カウンセリング基礎講座や、オンラインゲーム基礎講座などの研修に参加いただき、若者に向き合う基礎知識を学んでいただきました。

「支援する、される」の関係ではなく、同じ悩みを持つ若者同士が、インターネットという同じ場に身を置くことで、相互に支えあえる仕組みを作ることを目指し、活動を進めました。

対象者との最初の接点として、地域の支援機関とのネットワークの中で、対象者を探るとともに、法人 SNS 上での募集や、インターネット広告にも取り組み、潜在的にコロナ禍で社会との接点を失っている若者との接点を探りました。



## アウトリーチについて

アウトリーチは「手を伸ばすこと」を意味しています。待っているのではなく、こちらから出向き支援を届ける行動です。ただ出向いていくことを指すだけではなく、「支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けるプロセス」(OVA, 「声なきプロジェクト」ホームページ, 2022) がアウトリーチの意図するところになります。対象となる方は、様々な障壁により支援機関とつながることが難しい方です。特に石巻地域のような地方においては、café やお店等も含めた外出先・居場所になり得る場が少ないことや移動のための手段が限られるなど、社会資源が少ないことが障壁となります。このような社会資源の少ない地方においては、アウトリーチは必要な方につながるためにも非常に有効な手段です。

実際のアウトリーチでは、自宅や学校など対象者（本人またはその家族）が希望する場所に出向いて面談や必要なサポート等を行っています。毎月お会いして顔を覚えてもらうこと、家族以外のサポーターとして認識していただくこともしています。関わる人を増やすということも、対象者が今後生きていく上では欠かせない要素になると考えます。

支援の手が届き難い方へ支援を届けつなげるためにも、アウトリーチは引き続き継続していきます。



contents

## 04

## コンポーネント② 「まなぶ」

## 講座について

「まなぶ」では、のべ500名以上の方々に、様々な形で学びの機会を提供しました。講座を通して若者たちが自信をつけ、自身の前向きな変化を実感することで、自分らしい就労や修学への一歩を踏み出すことが出来ました。



## ① セルフケア講座

社会の中で直面する様々なストレスへの対処法や、自分を大切に生きるためのセルフケアの方法を、実践を通して学ぶ。

## ② コミュニケーション講座

グループワークを繰り返す中で、周囲とのコミュニケーションの方法を学ぶ。

## ③ 就活講座

自己理解のワークショップなどを通し、自分の「強み」を理解するとともに、「強み」を活かした自分らしい職業選択や、就職活動のスキルを学ぶ。

## ④ ITスキルアップ講座

eラーニングシステムを活用しながら、パソコンの基礎から始まり、Word, Excelなどの基本的なITスキルや、CAD操作やECサイト制作などの専門スキルの習得も目指す。

## ⑤ 学び直し講座

オンライン学習支援ツールを活用し、高校中退などで就活に課題を感じる若者に学び直しの機会を提供。

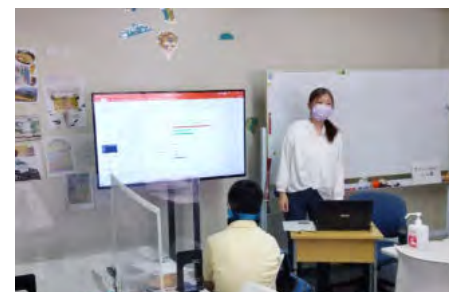
## 特別講座について

## ① AutoCAD 体験講座

建築や設計業界では必須となるAutoCADの操作を体験。普段使用しているアプリケーションとは異なる操作感覚を体験するとともに、専門性のある業界への進路選択の可能性を感じることが出来ました。

## ② ECサイト制作講座

一つの商品を題材に、その商品が生まれたストーリーや、これからどのような方に手に取ってほしいのか、将来的にどのような広がりを持たせたいか、など、単なるサイト制作ではなく、その商品の背景にあるものまでも本人たちがインタビューすることで、商品が世に出る流れを体感することが出来ました。



「はたらく」に対する興味も湧いてきました！



## 特別講座 受講者の声

- ・実際に仕事をしている方の話を聞けてとても参考になった。
- ・現在やりたい仕事や興味のある分野がなく悩んでいた状況だったが、AutoCADという自身のスキルになりえるものを知り、関心が持てた。
- ・貴重な経験ができた。
- ・今まで何気なく使っていたECサイトがどのような過程を経て作成されているのか知る機会となった。

contents  
05

## コンポーネント③ 「うごく」農村編

### 概要および目的

「うごく」農村編、では、普段と異なる環境に身を置くことによる新たな自分の発見や、共同生活による協調性や自立した生活へのステップ、そしてコミュニケーションを深めることを目的としました。都会の利便性を離れ、異なる環境の中で生活することで、自分自身を成長させることが出来ました。

### プログラム内容

#### ① 農業プログラムに関して

夏期はホップ圃場やさつまいも圃場の除草作業、摘果作業、ハウスの整備を中心に実施。単調な作業が多く、暑さとの戦いでしたが、目に見えて成果がわかる除草作業は「自分がこの場所の草を抜いてきれいにした」という「自信」をつける一歩になりました。

#### ② EC サイト制作前農家ヒアリングに関して

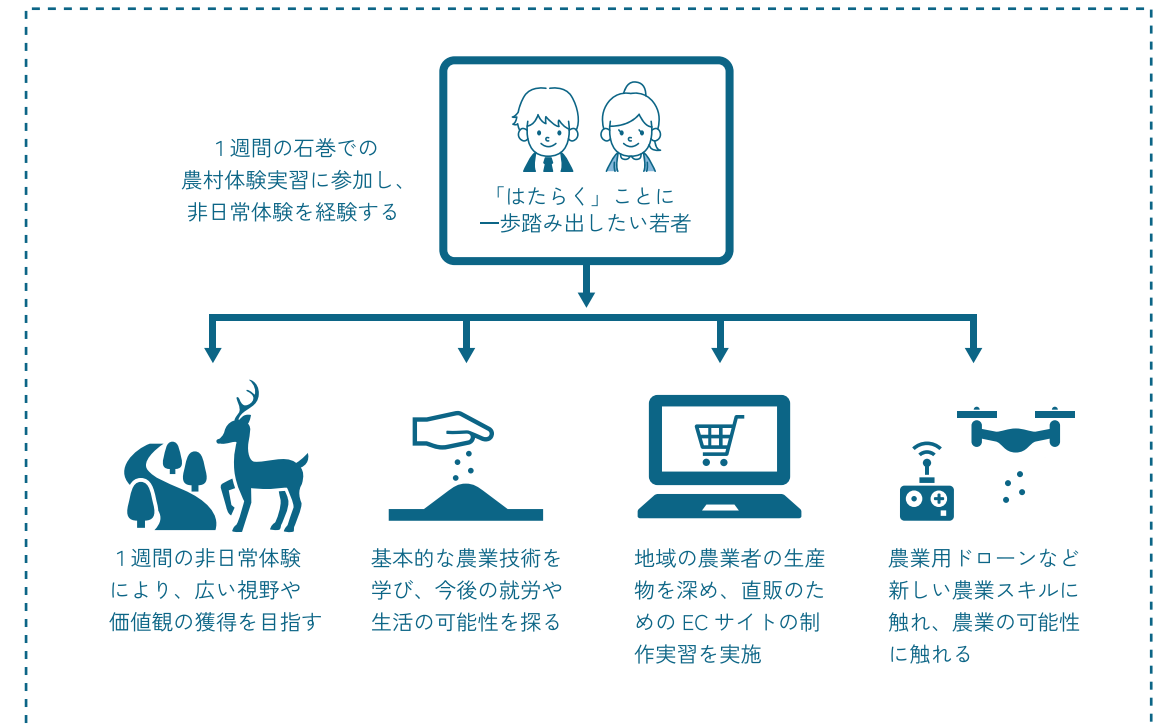
農業プログラムと同時に、生産者の方の EC サイトの制作にもチャレンジしました。事前の生産者のインタビューや、写真撮影を行うことで、普段接する大人たちとは別の第三者とのコミュニケーション力を身につけるとともに、生産物の裏側にあるストーリーを知る経験になりました。この経験が一番緊張したという声も多くなりました。

#### ③ EC サイト制作について

2日間にわたる講座の中で、これまでパソコンに触れる機会がなかった若者たちは、専門用語が難しいという声もありましたが、ともに学ぶ「仲間」と EC サイトを作りあげることで「話し合う」ことが出来、EC サイト制作のテクニカルな部分だけではなく、コミュニケーションや他社理解を学ぶ機会になりました。

#### ④ ドローン講座について

講座の中では農業の現場で活用され始めているドローンの操作も体験。見たこともないという声も多かったのですが、実際の操作を学ぶ中で論理的な考え方や、IT と農業の可能性を体感することが出来ました。



### 農業実習 受け入れ先からの声

実習担当：一般社団法人イシノマキ・ファーム

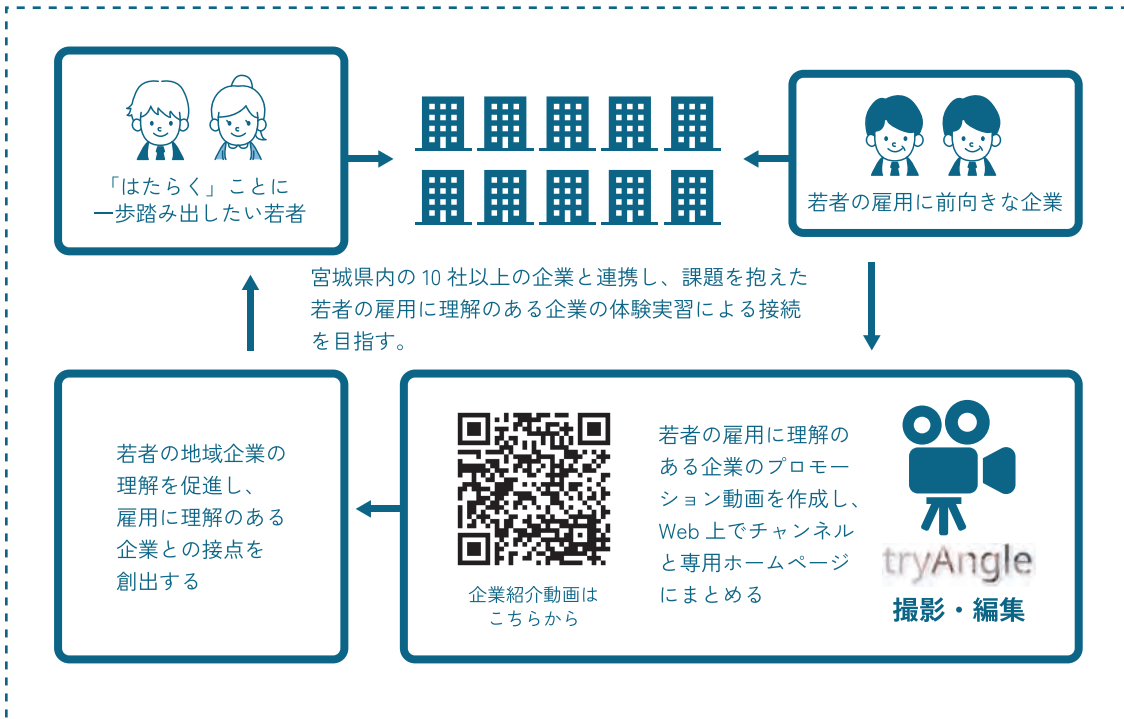
コロナ禍でオンライン化が進み、人とのかわりが希薄になる中、農村留学はコミュニケーションを学ぶ良い機会でした。それまでいつでも買い物が出来たり、いつでもお店が空いているような環境から、太陽のリズムとともに生活する環境に身を置くことは、本来の自分の力を取り戻す機会になりました。今回のプログラムから農業を職業選択の一つとした若者もいたため、今後も継続してキャリア形成のためのプログラムとして継続したいと考えています。



contents

## 05

## コンポーネント③ 「うごく」企業編



## ご協力いただいた企業のみなさま

今回の事業では、宮城県内の多くの企業様にご協力いただき、職場体験実習を実施しました。

業種は事務補助、福祉、ゲーム関連、農業、IT関連、施設管理、漁業など、幅広い業界の皆様とともに、地域で活躍の場を探す若者を受け入れていただくとともに、企業からの若者を応援するメッセージ動画もいただき、若者と地域企業との接点を創出しました。

株式会社ファーストローンチ  
代表取締役 伊澤 創 様

eスポーツは日本でも市場規模が増え、若者、Z世代を中心に広がっているコンテンツです。東北ではまだ企業が少ない中で、eスポーツをフックにして若者の就労支援や、地方創生を盛り上げていきたいと考えています。ぜひ我々と一緒にeスポーツを盛り上げていただければと思います。



あぼーぼら・いしまき農園  
石牧 紘汰 様

私はカボチャのみを栽培していますが、カボチャでつながる輪を大切にしている、いろいろな方々とつながったり、楽しんでいただきながら輪を広げていきたいと考えています。自分もいろいろな困難にぶち当たりながら苦戦していますが、いろいろな人が来て新たな価値観を入れてほしいと考えています。是非この場で、いろいろなことを考えていただけたらと思います。

特定非営利活動法人ふれいんはーと  
理事長 日沢 慶輔 様



私自身、病気や、貧困や、周囲とのコミュニケーションの難しさなどに問題意識をもって生まれ育ちました。NPOを立ち上げ、15年になりますが、「道はひとつではない」ということをポリシーに、子ども、若者の支援に取り組んでいます。どんな方であっても一人一人が個性を持った人間ですから、その方を尊重して、寄り添うということを大切にしています。ここに来ることでご本人にとって何か視点の変化があればと考えています。

## 参加者の声

- ・元々気になっていた業種だったけれど、さらに興味を持てた。
- ・初めての体験で、勉強になった。
- ・難しい作業だったが、指示を聞いて言われた通りにやることができた。
- ・わからないことを質問したり、間違えたところを素直に報告したりしながらできたのでよかった。
- ・初めての作業でどこか不安な感じはあったが、目標に立てていた「返事などの受け答えをしっかりとる」ことができたのでよかった。

contents

## 06

## みやぎ若者応援サーバー

構築から運用まで

## みやぎ若者応援プラットフォームのねらい

「みやぎ若者応援プラットフォーム」事業の一つの柱として「みやぎ若者応援サーバー」の稼働がありました。

Discord（※1）の中に、対象となる若者と、学生チューターに入ってもらい、メッセージや通話を活用しながらオンラインゲームに取り組むなかで、お互いに信頼関係を構築しながら、徐々にリアルでの交流の場への参加や、「うごく」ステップへの参加を促すことで、参加者が社会とつながる場を広げていくことをねらいとしました。

※1 Discord（ディスコード）は、Web ブラウザ等で動作する、インスタントメッセージ・ビデオ通話・音声通話・VoIP フリーウェアです。

## ▼ 「みやぎ若者応援サーバー」専用ホームページより

## Discord とは？



Discord は、大人数のコミュニティ運営に適した「コミュニケーションツール」であり、ゲームやビジネスの場においても幅広く活用されています。また、イベントや大会連絡用チャット、配信などにも用いられることも多く、近年のコロナ禍によりオンラインで開催されるイベントや大会におけるコミュニケーションツールとして利用される機会が増えています。

Discord には多くの機能があり、多くがコミュニケーションを円滑に行うことに役立っています。例としてボイスチャットによるリアルタイムな会話で、ゲームプレイ中にチーム内で会話することができたり、オーバーレイ機能を用いてゲーム画面上にチャット内容を表示できたり、オンライン内のメンバーを確認するような機能が挙げられます。

## Discord でできること

## ① メッセージを送る

個人だけでなく、グループをつくって大人数での会話が楽しめます。

## ② 通話する

通話したい人と無料で時間無制限に通話することができます。

## ③ メンション機能

半角の「@」を入力し、そのあとにロールや名前を入れることで、特定の人を指定してメッセージを送ることができます。

## ④ ビデオ会話機能

通話相手とビデオ通話が可能です。

## ⑤ ミュート

ヘッドホンマークをクリックすることで、自分のマイクの音声や相手の音声をミュートすることができます。

## ⑥ チャンネルの管理や画面共有

自分の見ている画面を、他の人に共有することができます。

## ⑦ メンバーのステータス

他のメンバーがオンラインなのか、ゲーム中なのかを確認することができます。

## ▼ メッセージ画面の例





contents

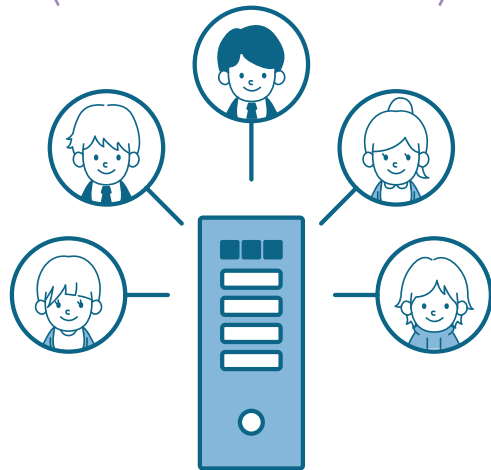
## 06

## みやぎ若者応援サーバー

構築から運用まで

## 専用サーバーの構築

専用サーバー・登録制だから安心!



Discord は「サーバー」と呼ばれる招待制のコミュニティを作る機能があります。

サーバーとは、複数のユーザーとテキストチャットやボイスチャットができる、グループのような機能です。

## サーバーの作成手順

- ① 画面左下にある「+」ボタンを押します。
- ② 「オリジナルの作成」「クラブやコミュニティのため」を選択し、「サーバー名」を入力の上「新規作成」ボタンを押します。

サーバー専用の絵文字や、多機能な BOT などサーバー独自のカスタマイズが可能で、コミュニティを構築・運営するのに便利な機能が盛り込まれています。

## チャンネルの作成

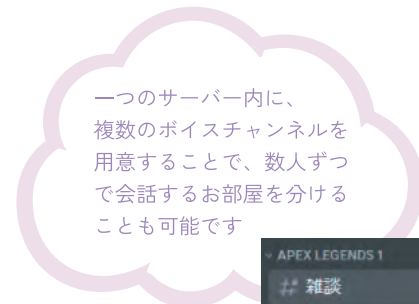
Discord では、用途に応じたチャンネルを作成することができます。チャンネルには「テキストチャンネル」「ボイスチャットチャンネル」の2種類があります。

テキストチャンネル ... テキストメッセージや画像を投稿、共有できるチャンネルです・

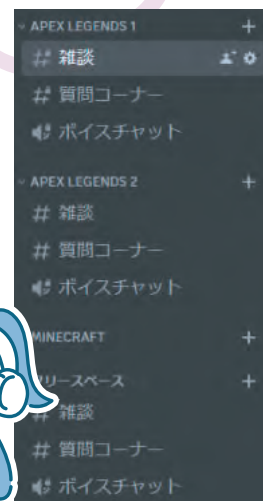
ボイスチャンネル ... 音声やビデオ通話、画面共有ができるチャンネルです。

## チャンネルの作成手順

- ① サーバー名んの横の下矢印をクリックすると表示される「チャンネル作成」を選択します。
- ② 「Text(テキストチャンネル)」もしくは「Voice(ボイスチャンネル)」のどちらかを選択し、「チャンネル名」を入力の上「チャンネルを作成」を押します。



一つのサーバー内に、複数のボイスチャンネルを用意することで、数人ずつで会話するお部屋を分けることも可能です



## ロール・プライベートチャンネルの設定

Discord 上では、ロール設定を活用して、サーバー内のメンバーをグループ分けし、それぞれに異なる権限を割り当てることができます。また、管理者側では、管理者を含む特定のロールメンバーのみ、あるいは指定された特定のメンバーのみが投稿・利用できる、プライベートチャンネルを作成することも可能です。

## ▼ ロール設定の例



## ロール設定をしておくことで...

- ・運営チームのみのチャンネルを作成ことができ、業務連絡、ビデオ会議などに活用できます。
- ・運営チームとチューターとが使えるチャンネルを作成し、日報管理や活動時の困りごと報告・相談に活用できます。
- ・一部のロールのみに宛てて、メンション機能を使用できます。(例：@チューター)

## サーバー活用あれこれ ～運営スタッフより

みやぎ若者応援サーバーでは、平日 15～19 時をコアタイムに設定し、オンラインのサーバー上へ参加者・チューター・運営スタッフらが集まり活動を行いました。参加者・チューター同士はボイスチャンネルでおしゃべりをしながら、FPS ゲームやオンラインで気軽に遊べるボードゲームなどをプレイし、交流を深めていきました。最初はおそろおそろの会話も、徐々に会話が盛り上がり、参加者それぞれから発言が飛び出したりなど、ゲームを通じたちょっとしたコミュニケーションからはじまった参加者・チューターのかかわりは、年間通じて少しずつ深く、強い絆となっていきました。

コアタイム以外の時間では、運営スタッフからリアルで行う e スポーツ交流会や、法人で実施する様々な実習・イベントなどの情報を発信したり、参加者・チューターとスタッフ間とで日頃の感想・所感などをやりとりをしたりすることで、サーバーを活用しました。



contents

## 06

## みやぎ若者応援サーバー

チューター養成・参加者の声

## | カウンセリング講座

本事業では、みやぎ若者応援サーバーを支えていただく大切な役割としてオンラインチューターを募集し、養成講座を実施しました。

オンラインチューター養成講座では、コミュニケーションに関する講座を5時間提供した。チューターの役割「一緒にゲームを楽しむ人、話をする・聴く人、励まし助け合う人、情報提供する人」を確認し、その実践を助ける内容として以下3部構成とした。

## ① コミュニケーション基礎Ⅰ

非言語コミュニケーションの重要性と、積極的傾聴について提供した。また、コミュニケーションと自己マインドの関係性から、ストレスマネジメントも合わせて提供した。チューターのチーム力強化のため、貴重な対面交流の本機会を最大限活用し、グループワークを多く取り入れた。

## ② コミュニケーション基礎Ⅱ

コミュニケーションが不得意な受益者、ゲームに熱中した時に互いに感情的になりやすいことなどを想定し、「アングラーコントロール」と「アサーショントレーニング」を提供した。

## ③ コミュニケーション実践

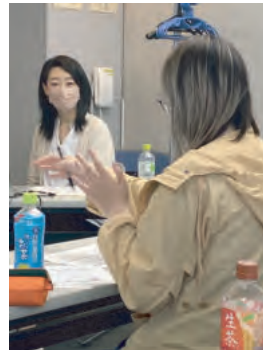
まとめとして、アナログゲーム（ジェンガ）を使って、チューター役と受益者役でのモデル演習と各々によるフィードバックを実施した。各々の個性が見られ、様々なタイプのチューターがいることの意義なども共有した。

どのチューターも、コミュニケーションについて学んだことがなく、各自のコミュニケーション課題にも対応する結果となり、有意義な場となった。

## | オンラインゲーム基礎講座

オンラインゲーム基礎講座で講師を務めました（一社）仙台eスポーツ協会気仙沼支部の桑原と申します。弊会では、社会の発展と幸せを追求するためにeスポーツを活用する「ソーシャルeスポーツ」という概念を掲げ、社会福祉や健康管理、教育といった多方面での活用を模索し、地域におけるeスポーツの普及と定着を進めています。現在主流のeスポーツは、複数人でチームを組みプレイするものが多く、遠隔地に居てもオンラインを活用することで、コミュニケーションスキルを向上させるツールとなります。

基礎講座では、eスポーツの一般的な概念のお話や、社会福祉や教育へのeスポーツ活用について事例を挙げながらお話しさせて頂きました。またオンラインゲームをプレイする上で問題となる不正行為やマナーの問題などについてレクチャーしたあとで、ゲーミングPCを用いたゲーム実践を行い、支援者と一緒にプレイするゲームへの理解を深めました。チューターの皆さんもゲームが好きとあって、雑談を交えながらとても良い雰囲気の中で楽しく講義をさせていただきました。



## | チューターの声

## Tutor's Voice 1

## アマネさん



私は大学でピアサポーター、つまり学内の仲間と共に支え合う活動に取り組んでいます。その活動中、先生からSwitchさんの活動を紹介していただきました。元々ゲームはあまり得意ではありませんが、ゲームをプレイすること自体はとても好きでしたから二つ返事でお引き受けしました。当初、Switchさんからは「APEX」や、「マイクラフト」を通し、参加者の方とオンライン上で交流を図ることで、最終的にSwitchさんが参加者の方をリアルな社会の場へ再スタートする流れだと聞いていました。実際その通り進むのですが、参加者の方とチューターとで垣根がないため、Switchさんを介さずにオフラインで遊ぶ場面がいくつか出てきました。お食事やカラオケに参加者さん、チューター、数人で遊んでいます。私はチューターとして参加者の方を導くのではなく、参加者さんとチューターでお互いゲームでもリアルでも切磋琢磨しあう、すなわちピアサポートの活動に近いのではないのでしょうか。

## Tutor's Voice 2

## 卵屋ふむ吉さん



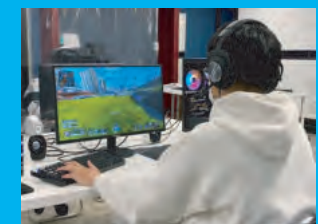
この活動に参加したきっかけは、学校の掲示板上に募集の紙があって色々な人とゲームができる、ゲームを通じて参加者を支援していくと書いていてどのように支援していくのが気になり参加してみました。活動してみたの感想は、最初こそ緊張していましたが、だんだんと仲良くなっていくのがお話をしていたりゲームをしていると感じます！最近では参加者の皆さんとゲームをしたり、オフで交流会をして遊んだり、お話をしたりして楽しく活動ができています！！

今後はこの経験を、活かせるかはわからないんですけど人と話す時とかにカウンセリング講座で習った事を思い出しながら生活していけたらいいなと思っています！！

## 参加者の声

## KAITO さん

新聞に掲載されていた記事を見つけた両親に勧められ、興味を持ったので参加しました。実際に参加してみて、初めのころは参加者も少なく不安なことも多くあったのですが、チューターやスタッフの方がとても優しく接してくれて楽しく活動することができています。今後も一つのゲームに限らず、様々なゲームを通して交流を深めていきたいです。



contents

## 06

## みやぎ若者応援サーバー

オンラインからリアルへ

## オフラインイベント



## オフラインイベント開催日

2022年11月27日	2023年2月4日
12月17日	2月18日
2023年1月14日	2月23日

全6回のオフラインイベントにて、学生チューターと、参加する若者の皆様とのリアル参加の場を作りました。

イベントではAPEXLegendsなどの高度なFPS(※1)から始まり、Minecraftや、ボードゲームアリーナなど、すそ野を広げた形で、誰でも参加できるゲームの場での交流に取り組みました。

オンラインでしか関わっていなかった若者とチューターとの、リアルな接続が実現する場で、声だけで交流を進めていた関係性から、一つ上の関係性が出来上がる瞬間を、目のあたりにすることができました。

※ ファーストパーソン・シューティングゲーム（略称FPS、英：First-person shooter）とは、シューティングゲームの分類の一つで、操作するキャラクター本人の視点（First-person）でゲーム中の世界・空間を移動し、武器や素手などを用いて戦うことを特徴とする。

## オフラインイベントの様子



## PC制作体験

## PC制作開催日

2022年11月27日	2023年2月18日
-------------	------------

今回のプログラムでは、高性能のゲーミングパソコンを組み立てるワークショップも実施しました。

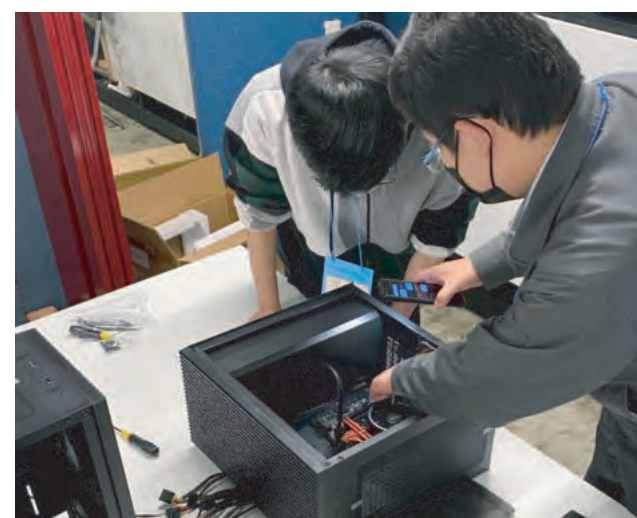
実習でもお世話になったeスポーツ用品とゲーミングPCの「ファーストゲーミング」様にご協力いただき、実際のゲーミングPCを組み立てに挑戦。参加者の方々は、はじめて取り組む作業に、真剣に取り組んでいました。

普段何気なく使っているパソコンが、どのような流れで作られるのかを体感することで、より興味が深まるとともに、参加後に、実際のパソコン制作の現場実習に参加する方もいらっしゃいました。

現場実習では、実際の店舗や制作現場に入ることによって、仕事としてのゲーミングPCの世界に触れることが出来ました。



## PC制作体験の様子



contents

## 07

## 法人紹介

## 事業拠点



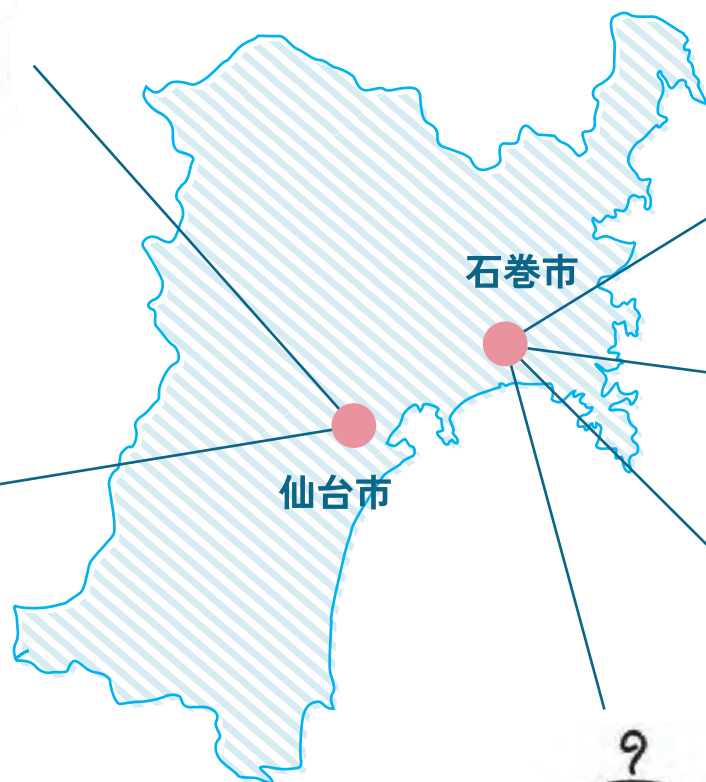
**Switch**  
スイッチ・センダイ

仙台市宮城野区榴岡 1-6-3  
東口鳳月ビル 602  
TEL : 022-762-5852  
・障害福祉サービス  
・就労移行支援  
・就労定着支援



ユースサポートカレッジ仙台NOTE  
**NOTE**  
SENDAI

仙台市宮城野区榴岡 1-6-3  
東口鳳月ビル 602  
TEL : 022-253-7701  
・就労準備支援  
・職場実習  
・職業体験プログラム



**Switch**  
スイッチ・イシノマキ

石巻市鑄銭場 1-9  
ペガサスビル 2階  
TEL : 0225-24-6511  
・障害福祉サービス  
・自立訓練（生活訓練）



ユースサポートカレッジ石巻NOTE  
**NOTE**  
ISHINOMAKI

石巻市鑄銭場 1-9  
ペガサスビル 2階  
TEL : 0225-25-5374  
・就労準備支援  
・職場実習  
・職業体験プログラム

石巻圏域若者伴走支援センター  
**NOTE+**  
PLUS

・アウトリーチ含む  
個別伴走支援



・高校内居場所カフェ事業

## ■所在地〒983-0852

宮城県仙台市宮城野区榴岡 1-6-3 東口鳳月ビル 602

TEL : 022-762-5851 FAX : 022-762-5853

■設立：2011年3月2日 ■代表理事 今野純太郎 小野彩香

■従業員数：18名 ■決算月：4月

## ■事業内容

障害福祉サービス事業所スイッチ・センダイ、スイッチ・イシノマキ

ユースサポートカレッジ（困難を抱えた思春期・青年期の就学・就労支援）仙台 NOTE、石巻 NOTE

学校メンタルヘルスリテラシー教育（予防教育事業）

各種メンタルヘルス研修の実施

精神保健福祉分野における研究

有料職業紹介事業所（04-ユ-300233）

## 事業内容

宮城県仙台市、石巻市で、若者の就労支援、修学・進路支援を実施。メンタルヘルス・福祉を強みに、Well-beingの実現と持続的な地域づくりをしています。ユースサポート部門では、若者への居場所提供やキャリア支援、学校への校内Caféを実施。就労支援部門では、障害福祉サービスでの精神・発達障害を専門にした就労支援、障害者雇用支援、休職者支援。他、企業支援、メンタルヘルス普及啓発などを実施しています。

▼ 法人 HP はこちら

